

(6) 津駅周辺道路空間の 検討状況について



令和4年3月津駅周辺道路空間の整備方針を策定



地方都市が主役のポストコロナ時代において

みえ県都の顔となり、**地域の活力**を引き出し、**災害にも強い**空間へと再生

(1) 公共交通の利便性の強化 災害時の対応の強化

- 交通結節機能の強化
(バス停、タクシー・自家用車乗降場の再構築)
- 歩行者デッキなどの整備 (東口)



<物流にも配慮>

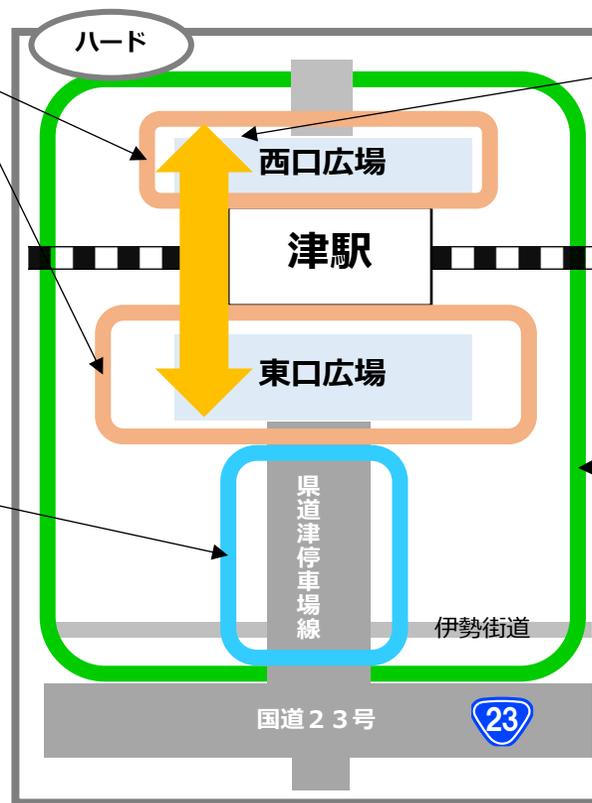
等

(2) 歩行者の賑わいや滞留の強化

- 駅前通りの歩行空間の拡張
- 占用の緩和を通じた民間利用の促進



等



(3) 東西連携の強化

- 東西自由通路の整備
(東西を快適に移動し、交流を高める)



等

(4) 駅周辺の回遊性の強化

- ICTを活用した案内看板の設置
- 植栽や美化活動の協働の取組
- 街灯の充実



等

ソフト

官民協働による
マネジメント

ユニバーサル
デザイン

DX

カーボン
ニュートラル

周辺地域
との連携

※写真はイメージであり整備内容を決定するものではありません

新たな技術や仕組みを積極的に取り込みながら、**継続的な進化**

津駅周辺基盤整備の方向性（ビジョン）案の策定

津駅周辺道路空間の整備方針の具体化に向け、津駅周辺基盤整備の整備コンセプト、エリア(東口、西口)の整備方針を検討

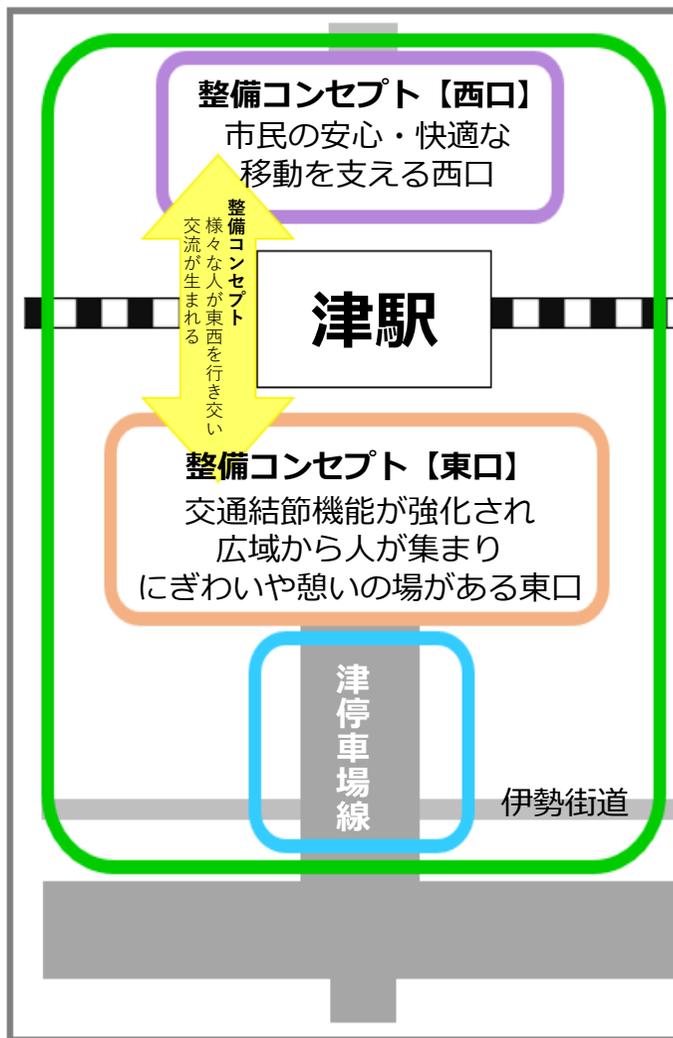
西口駅前広場の再編

- 津駅西口駅前広場エリアマネジメント会議を設立し、西口広場の配置計画を検討



交通結節機能の強化

- 使われ方調査
・ 車両（一般車、バス、タクシー）の移動・停留・ターミナルの利用状況について基礎情報を把握



東西自由通路の整備

- 東西自由通路の位置について鉄道事業者と協議
- 東西自由通路や西口駐輪場についてPPP/PFI導入可能性検討



歩行者の賑わいや滞留の強化

- 歩道空間拡張の概略設計を実施（歩道拡張案を複数検討）
- 駅周辺の公共交通の補完のため、県道等に路上カーシェアリング配置する社会実験を実施



歩道空間拡張の概略設計

- これまでの社会実験の結果を踏まえ、歩行者利便増進道路制度（ほこみち）の導入を見据えて、歩道空間拡張の概略設計を実施中
- 概略検討では、津駅周辺基盤整備の方向性（ビジョン）を考慮し、歩道空間拡張のイメージを3案作成



R5の賑わいの社会実験の様子

平面図（両側拡張パターン）



両側拡張パターン



イメージ図

歩道空間が現状の約5.5mから約9mに拡張

平面図（北側拡張パターン）



北側拡張パターン



イメージ図

歩道空間が現状の約5.5mから約12mに拡張

※南側拡張パターンも同様にイメージ図を作成済み

路上カーシェアリングの社会実験

実験目的

- 路上カーシェアリングが公共交通を補完する交通手段としてニーズがあるかを確認
- 津駅利用者の増加による賑わい創出効果を確認

実験内容及び期間

- 県道津停車場線及び津駅東口ロータリーにカーシェアステーションを合計4台設置
- 実験期間は令和7年1月21日～7月21日の半年間



津駅東口ロータリー



県道津停車場線

利用実績：1月21日～1月31日（11日間）延べ71回
路上カーシェア1台当たり平均1.6回/日の利用

津駅周辺基盤整備の方向性（ビジョン）

令和7年度

道路空間再編

交通結節点の機能強化検討

県道津停車場線

津駅東口

東西連携

津駅西口

- 賑わい空間の早期創出に向けた取組として歩道詳細設計を実施



- 西口駅前広場周辺の詳細設計
- 具体化に向けた検討（継続）
 - ・ 交通結節点の機能強化（駅前広場の再構築の検討）
 - ・ 東西自由通路について、鉄道事業者と協議

今後の予定

東口駅前広場の施設配置や官民の事業区分など詳細を検討
西口駅前広場や県道津停車場線歩道空間拡張の工事着手予定

まちづくりを踏まえた道路空間の再編検討を国・県・市の三者で進めます